



福島県立郡山北工業高等学校



発行所
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
郡山 (0249) 32-1199
発行者 渡辺達英
編集者 広江力男
発行部数 7,500部

印刷所
(有)ヤシマ孔房
〒963 郡山市菜根1-6-21
☎ 22-3533(代)

この様にして、昭和五十二年四月一日郡山工業高校と、郡山西工業高校が統合して、郡山北工業高校が発足したが、二年間は郡山、西高、北工新校舎の三校による変則授業で、教職員、生徒等は大変苦勞していた。こんな中で、昭和五十三年八月には待望の郡山初の甲

子園出場をなし、学校関係者並びに郡山市民をわかせる又初出場ながら二回戦まで活躍した球場での思い出は忘れられない。この甲子園出場により、旧郡工、西工の同窓生からの応援や激励があり、両校の同窓生の融和と結束になったことは云うまでもない。その後五十五年には同窓会館の建設の大事業を実施し、同年十二月無事落成を見たが、同窓生の反応が予想より低かったことは残念である。両校の統合による不信感や、偏見はやむを得ないが、統合十年、この辺で両同窓生歩み寄って母校を見なおし、校名は変っても母校は一つ、俺の母校は郡山北だと、胸をはって言ってもらいたい。私も同窓生と会う機会が多く、母校に対する考え方に、偏見をもっている同窓生が多いので、その度毎に良く話し合っている。今年には統合十年の記念事業を企画し、同窓会も参加して、十一月初頃実施を



統合十年に思う

同窓会長 渡辺達英

予定している。同時に学校祭も行われるので、この時期に母校の実態と全容をつぶさに見、同窓生意識を高めていただきたいものである。それぞれの同窓生が一体化して、地域や職場で相互関係を深め、胸襟を開いて、先輩/後輩/と肩を組み、手を握り合って親交を深めたいものである。新卒の諸君達も、全国各地の先輩達と積極的に接し、郡山北工生として、頑張っていきたい。

同窓会役員名簿

会長	長昭 24機	渡辺 達英
副会長	26機 佐藤 正夫	
〃	40電 今泉 善治	
〃	41機 今泉 顕喜	
〃	26機 佐久間 秀夫	
〃	42電 加藤 和夫	
〃	26機 滝田 孝太郎	
監事	〃	〃

同窓会員数

計	定	全	日
	郡山北	郡山工	郡山西
	三六	七九	三三
	三八	三六	三三
	三六	三六	三三

昭和61年度 同窓会 総会通知

昭和61年度定期総会を左記のように開催いたします。多数参加して下さいますようご案内申し上げます。尚新会員はご招待いたしますので会費は無料です。

記

- 一、五月十八日(日) 午後二時より
- 一、場所 多楽食堂 郡山市提下町
- 一、会費 三千元 (当日持参下さい)

懇親会

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリー・画材

渡達

有限会社

代表取締役 渡辺達英 (昭24機械)

郡山市麓山通り (市民会館入口) TEL.22-1159



工業教育雑感

学校長 松本 紹夫

戦後四十年我が国も今や世界の経済大国といわれるようになりまし。この間の科学技術や経済の発展は目を見張るものがあります。工業教育も以前は機械科系学科では製造、鍛造、手仕上などに相当な時間をかけていましたが現在では、NC工作機械やコンピュータ実習などが主力になってきました。また、化学科系学科では試験管やビーカーを使用していた定性、定量分析からガスクロマトグラフィ、原子吸光分析など機器を使用して分析精度や時間短縮などあらゆる面で飛躍的な進歩のあとが見られます。

この変化は技術的な面ばかりでなく、入学してくる生徒達にも見られます。現在と比べて昔は工業高校の数が少なかったので、粒よりの生徒達ばかりで、一流の進学校にも入学できる学力を具えていました。中学校の進路指導で〇〇工業は難かしいから普通高校に行

けといわれた時代もありました。

楽しい、家庭や学校だけが彼等の帰属の場ではなくなってきました。工業教育にとっては教育課程の改善や施設・設備を充実させただけではどうにもならない「生




教頭 菅野 祐一

二つの研究指定

毎年四百余名の卒業生を送り出していますが、彼等が先輩各位と、本校同窓生としてうまくやってゆかれるか、一抹の不安がないでもありません。社会人としての先輩の御指導をおおがなければならぬ事と思

徒の変容」という大きな問題が生じてきました。毎日先生方が生活指導に追われている姿を見るにつけ、今後の教育の困難さと重要性を考えさせられる昨今です。

の先生方を中心にしてたてたプランに従って、諸行事の開催や参加に、卒業生も積極的に協力してくれました。特に強調したい事は、研究テーマが「スポーツ活動による自主的体力づくり」——選択授業を通してのスポーツ活動——であったのです。研究目標として、生涯体育の充実のための糸口になることを期待してやってきました。社会において、心身ともに健康で活躍するために、北工体操のみならず各職場で今後も体力づくりに励まれる事と思



**株式会社
今川**

民 間 車 検

代表取締役 今川 直彦 (昭34機械)

本社・工場
車検センター

郡山市安積町荒井字東前田37-3

郡山市安積2丁目184-1

☎(0249) 45-1623(代)

☎(0249) 45-8300(代)

吹奏・柔道軌歌
 (吹奏) 一・一八日本武道館に五十名、全国大会初出場銅賞(中山教諭)
 (柔道) 鳥取国体・山田を始め、佐藤・滝田・七海・橋本・山本・本橋活躍(小菅教諭)



八山田所感

教頭 佐藤 澤 弥

昭和六十年四月より六十年一月末日まで一、〇八四件、生徒登校日の一日平均五・五件、学校には種々の統計データがあるが、この数は何の数字がおわかりでしょうか！

気候のよいシーズンには微笑ましい姿と見たり、厳寒の季節にはたくましさを感じるシーンにも受けとめて来た姿もありました。

それは自転車通学をしてる生徒のパンクを修理する姿であり、先に書いた数字は本年度一月末日まで自転車通学の生徒が学校に於て生徒会が準備した工具、材料を用いて修理した延べ回数であり、自転車通学生がこの期間中一回以上修理したことになります。

本年度自転車通学許可者数九〇五名、全校生徒数一、二五一名の七二・二%で在校生比では白河実業高校に次いで第二位であるが、実許可者数でみると県下一自転車通学生の多い学校であります。

八山田の高低の丘の上にある本校へは東、南、北西より、とる登りの三本の通学道路がある。しかし現在舗装してある道路は東側の四号国道添いの大松ボール北側よりのバス路線だけで他の二本は未舗装のまま、割り石の砂利道で雨の日は車に泥水をばねられ、快晴の日には砂ホコリに、そして風に悩まされる道路であることは皆様御承知の通りであります。

自転車通学生の大半はこの未舗装道路を利用しており卒業生(特に自転車を利用して通学した人達)には高校生活の中でも思い出の一つであつたらうと思えます。真夏の放課後西日をさけて日陰でのパンク修理には、なごみ、微笑ましさも見られますが、厳寒の吹きさらしの中、日没の早い夕方電灯の下での修理には、たくましささえ感じられます。ある時は一人黙々と、ある時は女子生徒の修理をしてくれる男子生徒、

何人かの生徒が集って和気あいあい修理をしている姿を見ると高校生活の思い出の一つとして心に残る一コマでもあり、本校の風物詩と言つても良い光景であります。



定時制に勤めて

教頭 佐久間 房 次

私は旧郡工校舎近くの桃見台に居住しているため、小さい頃より、校舎の周辺で遊んだり、時には校舎の中に入ったこともありました。その頃、廊下には卒業記念の作品なのか建築関係の見事な設計図や見取図が飾つてあり、裏の方の実習室には大きな機械が並んでいるのを驚異の目で覗いたりしておりました。

このためか、昨年四月、本校定時制に勤務を命ぜられたとき強い親近感がありました。

近年の社会・経済構造の変化により、定時制の生徒数は年々減少の傾向にあります。従つて、本県におい

土地改良工事に着手、学校の回りの道路取付工事もあり、一、二年先には通学道路も整備され快適な通学の出来る日も近く、パンク修理の風物詩も昔の思い出となることを心待ちしています。今日このごろであります。

活体験発表大会では県優秀賞に輝きました。その他、種々の年間行事を通して人間性豊かな生徒の育成を期して最善の努力を傾注しております。この様に、働きながら学ぶ青少年のため、定時制本来の理念を再認識して、質的充実と発展の方策について検討しております。

昨今の技術革新・情報技術の進歩に対し、工業高校としての教育内容にも検討が加えられ、新しい教材の研究開発や情報処理技術の研修等が現在、職員室の中で熱心に行なわれております。これらは北工の素晴らしい学習環境に加えて定時制の一般生徒だけでなく、生涯教育の視点から設置されている専修生や聴講生制度の充実につながり、魅力あるものになると期待しております。

定時制に勤めて一年になりますが、定時制生徒の就労の条件が大変悪いことを痛感しております。中卒者は職を捜すのが困難な状態にあります。同窓生の皆様には定時制生徒達への一層のご理解と暖かいご支援を切にお願い申し上げます。

今年度は部活動等で、テニス、柔道、剣道が全国大会に出場しました。また、生



“今日のスタミナ源” 味とボリュームの弁当

給食弁当・仕出し ホクト一食品

代表取締役 島崎 清 (42年建卒)

工 場 郡山市山崎305-90 TEL22-0166
池ノ台店 郡山市池ノ台19-31 TEL22-7944

寿司、おにぎり、オードブル、etc
ご予算に応じて調整いたします。

▶部室増設



青春奮戦の跡

吹奏・庭球、東北一

バト順調、水泳台頭

生徒会・部活活躍

一九八五年の回顧

▼生徒会

今年度の生徒会活動の中から、リーダー講習会とミニ文化祭について取り上げる。今年度のリーダー講習会は、六月四・五日、例年と違って、グループワークの講師として郡山在住の土田功氏を迎え、研修場所も海浜青年の家に移した。研修中は晴天に恵まれた。野外活動としてオリエンテーリングなどを取り入れ、潮の香りを充分満喫した。生徒達の感想は「堅い研修を予想したが、身体を動かし乍ら学ぶことが多く楽しく過せた。GWの最後でやったP・M理論はまだしつかりとは理解できない。全体としては大変有意義であった」というのが多かった。十一月十三・十五日、ミニ文化祭の形式は大分定着してきた。クラス発表の種類は、合唱、弁論、ティーンズメッセージ、それに今年は三年生による研究発表を加えた。発表したクラスは、二クラスで、内容はまだまだ不十分であるが文化意識の高揚という点では、良い方向に行っていると思える。

(教諭 吾妻健則)

▼(定)生徒会

「おぼんです」「おぼんです」と一人また一人と生徒会室に集まって来る。夜の生徒会の活動は、授業が終わった九時過ぎから始まる。学業と仕事を両立させ、さらに、忙しい中の生徒会活動と、役員たちには、限られた時間をより有効に使うための生活が続く。

一年間の主な活動を振り返ってみる。年度当初の新生を迎えるための対面式、去年の活発な部活動を思い起こさせる部紹介、一年間の生徒会の方向を決定づける生徒総会、クラスの名譽を担うための体育大会、自分自身の生活を振り返り、一年生にとっては初めての経験である生活体験発表会、生徒会役員改選のユニークな立会演説。

仕事の都合上出席できない者の分担をカバーし合い、互いの協力を支えた一年間でもあったと思う。しかし活発な生徒会活動のためには、一部の参加に留まることなく生徒会全員の自覚が必要である。

(教諭 白井訓明)

東北大会

初優勝

▼庭球部

六月二九・三十日と仙台市で行なわれた、東北高校軟式庭球選手権大会に福島県代表として出場しました。二回戦能代工に3対0、三回戦八工大に2対1、決勝戦黒石商に2対0と昨年度のインディア大会の屈辱をはたし初優勝することができました。連日、目標をも



って練習に励んだ結果だと思っています。もう一つの目標であった、県高校総体の団体戦も、優勝でき、三年連続四回目の全国大会出場がはたせました。この他に個人戦でも好成績を残し、鳥取での若鳥団体に四名出場しました。

(教諭 川口彦彦)

棒高・三段跳

優勝

▼陸上競技部

去年の反省を生かし新たな気持ちで、スタートしたわが部は左記のような成績で、今年度を終りました。

○県高校大会(原町)

三段跳 助川 哲男

第六位

棒高跳 安瀬 洋一

第一位

○県総合体育大会(いわき)

一六〇〇米R(竹林・佐藤良・佐藤隆・熊田)

第五位

三段跳 永福多喜男

第六位

棒高跳 安瀬 洋一

第二位

○県高校新人陸上大会(福島)

一〇〇M 円谷 和久

第三位

三段跳 大石田弘美

第一位

円盤投 斉藤 倫江

第六位

○県高校駅伝大会(原町)

二時間十八分二秒

第二位

ここ二年間低迷を続けている陸上部も新人戦ごろから各ブロックに中心になる選手が育ってきているので

北工十年目を迎える今年は大いに飛躍したいものです。

(教諭 星 保男)

創立十周年へ

▼野球部

今年は、北工創立十周年を迎える記念すべき年です。一つの節目として二度目の甲子園をめざすべく選手達は、寒風吹きすさぶなか基礎体力の向上を心掛け、来たるべきシーズンに向けて余念がありません。

昨夏の甲子園大会福島大会においては、一、二回戦に快勝したものの、第三戦において伏兵原町高校に2対1で惜敗し無念の涙を飲みました。一、二年生で新チームを結成以来、公式戦においては、目ぼしい成績を残しておりませんが、着実に力を付け、期待感を持たせるチームに成長しつつあります。三月二十八日より四日間茨城県の磯原を中心に遠征試合にいられます。それを機に野球シーズンの幕が開くわけですが選手共ども夏を目指して頑張ります。今年も皆様の暖かいご声援・ご援助をよろしくお願いたします。

(教諭 溝井清治)

全国大会

二回出場

▼バトミントン部

バトミントン部顧問二年目、部員数十名、いずれもやる気のある者達である。今年度の成績は次の通りである。第三十一回インターハイ宗形建二シテングルス優勝、第十四回東北高校選手権大会(山形市)宗形シテングルス三回戦で敗退、第三十八回高校県総体宗形・鈴木組ダブルス三位、宗形シテングルス優勝、第三十六回全国高校選手権大会(金沢市)に宗形が出場、気力と精神力に弱く、シテングルス一回戦で敗退、第十二回東北総体県代表で宗形が出場、団体戦一回戦で敗退、第四十回国民体育大会(取島)に宗形出場、団体戦二回戦で敗退、第七回理事長杯宗形・鈴木組ダブルス二位、宗形シテングルス優勝、第十二回議長杯本田・増子組三位、第二十四回市民体育祭三本菅・渡部組優勝、本田・増子組二位、一年生大会渡部シテングルス優勝、木船二位、安藤三位六十一年度期待されます。来年度も頑張りたいと思います。

(教諭 水田 守)

より高い

峰を

▼水泳部

今年度は、水泳指導のベテラン田崎先生が正顧問になられて本格的指導が開始された年でした。練習量も多く、その内容も濃く、全体的にレベル・アップした年でした。

県高校大会では、四〇〇M自由型に星英俊が、一〇〇、二〇〇M背泳で折笠優子が入賞して東北大会に出場、特に折笠は水泳部はじめて以来、はじめて決勝に進出を果しました。県総体と県新人大会では三年生は出場しませんでした。吉田雅勝と玉井正哉がそれぞれ、平泳と背泳に入賞、一年生バタフライの井出聖一も急速な進歩を示しました。

来年度は、個人種目のみでなく、メドレーリレーでぜひ東北大会出場を果したいと思っております。学習との調和をはかりながら、困難を克服し、より高い峰に到達したいと考えております。進歩と成長、そこに若者の喜びがあり、思い出があるのだと思います。

(教諭 斎田 卓二)

小柄な選手で奮闘

▼バレー部

今年度は、小柄な選手が多いので、拾ってつないで好機を広げるバレーを目標に活動してきましたが、精神的な弱さがでてしまい、思いうような成績があげられなかったことが、残念でなりません。来年度は、今年の反省を生かし、基礎体力づくりと各自のレベルアップを図り、好成績を残すように部員一同、頑張りたいと思いますので、今後とも、皆様のご指導、ご声援をよろしくお願いいたします。

(教諭 加藤 正明)



母校の話題

- 筑波科学博見学
- 五、六月全定共、バスで筑波万国博覧会を参観。
- 体力づくり研究
- 文部省指定で、自主的体力づくり研究が三年間続けられ、十一月公表。
- 遅刻防止・修学旅行
- 八・三〇登校展開。修学旅行は京都・奈良、二年生。
- 情報教育研究会
- 十一月、福島・山形参集。
- 北工駅伝⑨
- 十一月、一三三〇名参加

教 職 員 異 動

1985年4月1日

職 名	氏 名	科 名	転 出 先	職 名	科 名	氏 名	前 任 校
教 頭	宗 形 悦 郎	機 械	退 職	教 頭	電 気	佐 藤 沢 弥	勿 来 工
事務長	佐久間 英 男		〃	事務長		川 俣 洋 二	福島医大
教 諭	土 屋 武 久	建 築	〃	教 諭	理 科	池 田 吉重郎	須賀川高
〃	村 田 正 作	理 科	〃	〃	保 体	安 斉 博	矢 吹 高
〃	斉 藤 貢	化 工	〃	〃	建 築	関 根 敬 次	福 工 定
時 講	片 岡 英 一	保 体	〃	〃	情 報	小 泉 浩	勿 来 工
教 諭	影 山 清	英 語	遠 野 高	〃	理 科	森 尾 巖	定 時 制
〃	小 貫 勲	理 科	須賀川高	実 講	電 気	根 本 和 次	塙 工
〃	宗 像 重 武	保 体	長 沼 高	常 講	英 語	荒 池 裕	日 大 東 北
〃	佐久間 貞 治	情 報	平 工	時 講	理 科	村 田 正 作	郡 北 工
主実講	大河原 勇 一	電 気	二本松工	〃	保 体	橋 本 弘 行	棚 倉 中
副主査	村 越 ち よ	事 務	安 積 高	主 査	事 務	高 谷 文 子	岩 瀬 農
教 諭	松 永 覚 之 助	数 学	退 職	教 頭	理 科	佐久間 房 次	県 学 生 寮
常 講	橋 本 宏 一	英 語	磐 城 高	教 諭	英 語	白 井 詞 明	新 採 用
教 頭	森 義 男	理 科	相 馬 女	〃	数 学	柴 田 寛 二	〃
教 諭	森 尾 巖	理 科	全 日 制	常 講	電 気	佐 藤 弘 雄	植 田 中

(注) 森尾巖氏はS 60.10.10死去。享年55歳。

- 二時間三三・二四の大会新。
- 読書コンクール
- 大原ひろみ(二年)、渡辺軍一(定一)最優秀。
- 吹奏楽、全国大会
- 東北マーチング、初出場
- 入賞。全国大会銅賞。一

- 月翌日、第九回演奏会で、市民文化センター、三千人を魅了。担当中山教諭。
- 世界をめぐる高野太郎
- 満州生れ、43才、郡山工卒。中南米・東京六本木、郡山文化Cでギター演奏。

- 市川昭介、名作曲家
- 53才、公民テレビで出演
- 部室増設
- 母校と安積高だけ残っていた機械警備体制が八六年から、十部室が増設。
- (写真四頁)

厳しい進路状況

県内が三分の一

今年の三年生の進路状況は、別表の通りである。率にして進学が九・〇%、就職が八七・八%で、昨年と比較して進学が一・七%減、就職が一・三%増と、少しではあるが就職者が増えている。

就職者の地域別では、県内が六六・一%、県外が三三・九%と、昨年とほぼ同率であり、依然として地元指向が強い。また、産業別では、製造業が七六・七%、非製造業が二〇・六%、公務その他が二・七%となっている。

一方、就職希望者に対する求人件数は、県内が三三

七社(ほぼ昨年並)、県外が一・二〇一社(昨年より約七〇社増)と、本校生にとっては、手の上では依然として売り手市場であった。しかし、貿易摩擦、円高等の影響で、県内の音響機器、電子機器関係等の企業からの求人者数が減少するなど、厳しい情勢だった。特に、ドルショック以来十数年間例のなかつた求人取り消しが、鹿島石油、日立製作所高崎工場・東海工場・武蔵工場、日立化成下館工場、東北丸大食品、コパル郡山工場、信越半導体白河工場、福島信越石英、日東紡績富久山工場などからあった。

このうちの数社については十数人の応募書類発送後であつたため、その善後策に苦慮した。

大学進学については十八名中十四名が推薦入学希望であるが、推薦入学も希望者が増え、特に工学部系は前年よりも競争倍率が高く、その選考も厳しく、狭き門となっている。現在までに十三名が合格し、残り全員の合格を願っている。(教諭 遠藤 達雄)

卒業生の進路(全日制)

()内は女子

学 科	在 籍	進 学		就 職		自 営 その他
		大学	専修・各種	県 内	県 外	
機 械	119	5	5	72	31	6
電 気	82	1	2	46	32	1
電 子	43	4	2	27	9	1
情報技術	43(9)	2	1	21(8)	19(1)	
建 築	41(2)	4	5	19(2)	10	3
化学工学	82(31)	2	4(2)	53(21)	21(6)	2(2)
計	410(42)	18	19(2)	238(31)	122(7)	13(2)

S 60. 2.10現在

郡山北工現勢

1985. 5. 1

位置	東 北		緯 度	経 度
	緯 度	経 度		
校地等	地(平方米)	87,297	140°22'44"	37°30'26"
敷 地	うち運動場(㎡)	37,200	245	
	校 舎	17,500		
生 徒	全 日 制	1,251		
	(うち女子)	(134)		
教 員	全 日 制	77		
	時 計	1,328		
進 路	全 日 制	115		
	時 計	24		
進 学	進 学	39		
	産 業 別	257		
日 制	第 2 次	75		
	第 3 次	1		
就 職 地 域 別	福島県	218		
	東京圏	86		
定 員	宮城県	19		
	他	5		
定 員	国 鉄 郡 山	15		
	他	12		

支 部 連 絡 先

〒	方 部 名	方部長名	卒業年度	勤 務 地	現 住 所
145	東 京 支 部	小野寺 昭	23機	☎03-276-5122 日東紡績K.K 建材一課	☎03-729-3611 東京都太田区北嶺27-4
203	東京支部事務局長	渡辺 達良	28建	☎03-364-1365 建築工房 いらか	☎0424-72-6573 東京都東久留米市滝山6-2-12-402
320	宇 都 宮 支 部	吉田 良毅	31機	富士重工K.K 宇都宮製作所	☎0286-58-8967 栃木県宇都宮市今宮4-1973-3
312	水 戸 支 部	山崎 功	29機	K.K日立製作所 水戸工場	茨城県勝田市中根4950-14
316	日 立 支 部	山川 敏夫	27機	K.K日立製作所 日立工場	☎0294-37-5534 茨城県日立市金沢町5-7-5
362	埼 玉 支 部	土屋 勇	29機	日産ディーゼルK.K 上尾工場	埼玉県上尾市緑ヶ丘1-2-23
961	白 河 方 部	清水 国雄	25機	清水建設工業K.K (自営)	☎0248-22-3086 白河市南町44
969-13	郡山市役所方部	加藤 幸司	25機	郡山市役所	☎0243-48-2811 安達郡大玉村玉井字薄黒内98-3
963-01	日東富久山方部	高橋 英雄	25機	日東紡績K.K 富久山工場	郡山市安積町柴宮27-110
963	本 部 会 長	渡辺 達英	24機	☎0249-22-1159 渡辺文房具店 (自営)	☎0249-22-1159 郡山市麓山町1-16-28
963	本 部 事 務 局 長	広江 力男	24機	☎0249-32-1199 福島県立郡山北工業高等学校	☎0249-32-6851 郡山市長者2-17-6

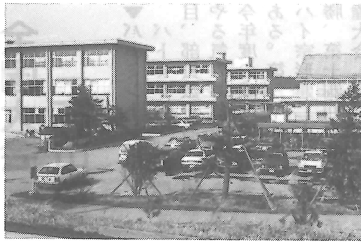
工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

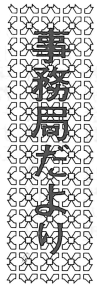
株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英二 (20年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎(0249) 33-0611 (代)

▶校舎東南面





事務局長より

昭和60年度 定例総会報告

本会、公債借入零へ

昭和六十年定例総会は、五月十八日(日)午後六時より「多楽食堂」の二階において職員、来賓多数の御臨席を得て、同窓生三十名が参加して開催されました。今泉善治副会長の開会のことばで総会が始まり、会長より出席された来賓の紹介があり、また広江事務局長より、職員の紹介があり議事が進み、おもな内容は決算報告、予算案等が別紙の

通り可決された。尚決算報告で二十万の赤字が出たの赤字が予想される理由が、広江事務局長より「昭和六十年年度で、同窓会館の借入金返済がすむので、昭和五十九年度の赤字予想は、やむを得ない事情なので、昭和六十年年度から今迄返済していた金額が使用出来るので、この点を御理解いただきたく

い旨」説明がありました。これについて満場一致で承認されました。引続き役員改選があり、事務局長の発言があったので、広江事務局長より、五月十四日の常任理事会の案を発表し、これが満場一致で可決され、これで全て終了いたしました。続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

昭和六十二年度と同窓会員の名簿を発行する予定です。つきましては現在の住所(郵便番号、電話番号も一緒に)、勤務先、勤務先住所(郵便番号、電話番号も一緒に)、を左記に御連絡下さい。連絡がないと白紙になりますのでよろしく願います。尚クラスの幹事になっている方は自分のクラスの全員の名簿を作成してお送り下さい。

お願い

名簿作成第三版

事務局住所

963 福島県郡山市富久山町八
山田字大林一番地

福島県立郡山北工業高等
学校同窓会事務局宛

塚原 健 二 氏

郡山工業高等学校同窓会
当時より現在まで、本部の
会計監事として御協力いた
だきました郡工第一回機械
科の卒業生、塚原健二氏が
昭和六十年六月十七日、胃
癌のため逝去されました。
享年五十四歳。ご冥福をお
祈りいたします。

同窓会予算・決算報告

1. 収入の部

項目	昭59決算	昭60予算
繰越金	1,618	- 209,593
会費	1,248,000	1,224,000
会金	1,347,000	1,315,000
利子	4,309	100
雑収入	60,000	60,000
合計	2,660,927	2,389,507

2. 支出の部

基本金	249,600	244,800
会議費	220,740	150,000
事務費	69,810	50,000
慶弔費	176,000	100,000
通信費	413,680	280,000
旅費	70,600	50,000
会誌編集費	190,000	100,000
渉外費	30,000	20,000
記念品	118,800	90,000
事務局費	80,000	80,000
予備費	51,290	24,707
返済金	1,200,000	1,200,000
合計	2,870,520	2,389,507

昭和59基本金会計

1985. 4. 1

収	繰越金	3,213,136
	利子	54,496
	昭60(3,000×416×0.2)	244,800
入	計	3,512,433
	支出	0



新入会員

科	86. 2. 28	85. 2. 28	84. 2. 29
機械	119	119	118
電気	82	77	75
電子	42	38	40
情報	43	39	38
建築	41	38	39
化工	82	73	77
定・機	3	11	17
定・電	6	16	12
計	418	411	416



総合防災プランナー
火災発見より消火まで

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年卒)

福島県郡山市安積町荒井字下北井前4の1 ☎ (0249) 45-2882(代)

同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要な事業

第二章 会員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員、準会員とする。

- 一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山西工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。
- 二 名誉会員は母校の旧校長とする。
- 三 特別会員は母校の現旧職員とする。

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会長 一名
- 二 副会長 四名
- 三 監事 三名
- 四 常任幹事 若名
- 五 幹事 事各クラス一名
- 六 事務局次長 一名
- 七 事務局次長 二名

第六條 役員は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。

三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事に出席し発言できる。

四 常任幹事は本会の事業を執行する。

五 幹事は本会の事業を審議する。

六 事務局次長は会務の処理にあたる。

七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。

第七條 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事

は総会において選出する。

四 在校生は準会員とする。

第三章 役員

二 常任幹事・幹事・事務局次長は会長が委嘱する。

第四章 会議

第八條 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であつて、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認めた場合は、臨時に開くことができる。

総会は出席人員をもつて成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

二 幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。

三 常任幹事会は正副会長・事務局次長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

第九條 必要に応じて三役会を開くことができ、正副会長・事務局次長で構成する。

第十條 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあてる。

第十一條 普通会員は卒業の際終身会費三千元を入学時に入会金三千元を納入する。

但し定時制は卒業時に入会金三千元と終身会費三千元を納入する。

第十二條 本会の入会金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三條 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

本会の収支は毎年三月末日において決算し、総会に報告する。

第十四條 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
- 二 会員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認めた帳簿

第十五條 本会に次の集會を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

これらの運営はそれぞれの規約による。

第十六條 本会に次の内規を設ける。

- 一 表彰内規
- 二 旅費内規
- 三 慶弔内規
- 四 会計内規

第十七條 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があつた場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八條 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならぬ。

第十七章 附則

- 一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。
- 二 この規約は昭和五十五年五月十八日より施行する。

編集後記

一月の東京、毎日晴天。秋田だけが晴一日。これ県立高入試問題。年に二米も降る郡山、今冬は全く雪少ない。宮城の車タイヤ規制も空転。いかに偉大なる人間も自然や神秘や歴史には勝てない面もある。

郡山工一九四四年、郡山西工一九六三年、郡山北工一九七七年創立。郡山から四十二年、郡山北工九周年が過ぎて行きます。支部・個人、寄稿して下さい。(編集委員 高野 和雄)

良い子が育つ良い牛乳
あぶくま高原牛乳・あぶくま牛乳

岡田乳業株式会社

郡山営業所 ☎23-5733
小原田販売所 ☎33-3281

おいしいパンとケーキ

大友パン店

郡山市さくら通り ☎23-6536